



世界を走る自動車 に私たちの部品が

神奈川・しんわろネッサンス
渡邊真司

しんわろネッサンスは、就労継続支援
A型・就労継続支援B型・就労移行支
援・就労定着支援事業を行う事業所で

す。さまざまな種類の作業に取り組んで
いますが、このうちA型では、自動車部
品組立、どんぐり育苗、農産品加工、給
食作業を行っています。

主体的な関わりを支える

中心的な作業種は、1974(昭和49)
年より本田技研工業株式会社(以下「本
田技研」)から受注している自動車部品組
立です。部品の入荷・部品準備・組付
け・出荷の4部門に作業は分かれ、利用
者の力量に応じて各部門に配置されてい
ます。

す。Oさんは「自分たちが組付けた自動
車が世界中で走っていると思うとうれし
い。これからも品質管理を頑張らなくて
はいけない」と自分たちの仕事について
振り返ります。

積極的に環境整備を行う

また、利用者の潜在的な能力を最大限
に発揮できる環境を整えることも重要だ
と考えています。各業務についての必要
な知識・技術を養成すること以外にも、
たとえば部品準備の際に使用するデジタ
ル計量器や、出荷作業の際に使用するバ
ーコードリーダーの導入など、検査工程
等で使用する独自の治工具の開発も行っ
ています。このような積極的な環境整備

B型および就労移行の利用者は、取得
している力量に応じて組付けラインで
「一人一工程」を受け持ち、作業を行いま
す。一方、A型の利用者は管理的業務が
主であり、各メーカーより納品される部
品の検品やフォークリフトで工場内の所
定の場所へわかりやすく部品を搬入する
「入荷」、発注のあった製品準備やパソコ
ンでの帳票類作成を行う「部品準備」、各
ラインで組付けた製品を確認する「検
査」、最終検査を行い出荷用パレットに積
み込みを行う「出荷」で、それぞれ責任
のある役割を担っています。

により、難易度の高い作業内容であって
も挑戦する意欲を利用者がもてるように
工程を見直しています。

日々の作業の中で責任のある役割を担
うことから、精神面のフォローも欠かせ
ません。適宜面談を行い、それぞれの状
況を確認するよう配慮しています。単身
で生活されている人に対しては月に一度
自宅を訪問し、生活状況の確認や困りご
となどがないか相談に応じる機会を設け
ています。

自動車部品組立は品質や納期が厳格
で、非常に責任の重い業務です。そうし
た責任を全うしながら、やりがいも感じ
られるように、みんなで力を合わせてい
きたいと思っています。

支援にあたっては、「働くよろこび」を
実感できることに主眼を置いていきます。
具体的には、打ち合わせを日に3回実施
して作業についての情報共有を綿密に行
い、当日の作業順序等について利用者の
意見を反映させていきます。このように
各部門でリーダーシップが発揮できるよ
うに支援しています。

「自分は品質管理担当者として厳しい」
と話すOさんは、本田技研の作業を受託
して間もない頃から部品組立業務に携わ
るベテランです。「入荷」を中心に活躍
し、言葉通り自身の仕事に対して不具合
を出さないように厳しい姿勢で臨んでい
ます。また、他の利用者にも「部品を丁寧
に、やさしく扱う」ことを伝えていま